■食品廃棄物等の発生量及び再生利用等の内訳(平成25年度実績)

食品廃棄物等の発生量の内訳

平成25年度の食品産業全体の食品廃棄物等の年間発生量は、19,270千 t となった。

これを業種別にみると、食品製造業が15,936千 t と最も多く、次いで外食産業が1,884千 t 、食 品小売業が1,239千 t、食品卸売業が210千 tの順となっている。

食品産業全体の食品廃棄物等の年間発生量の内訳は、再生利用の実施量が13,355千 t (69%) と 最も多く、次いで廃棄物としての処分量が2,791千 t (14%)、減量した量が2,197千 t (11%)、 再生利用以外が481千 t (2%)の順となっている。

再生利用等実施率については、食品製造業が95%と最も高く、次いで食品卸売業が58%、食品小 売業が45%、外食産業が25%の順となっている。

年度 平成25年度実績

※各項目の上段()内の数値は、食品廃棄物等の年間発生量に占める割合である。

		食品廃棄物等の年間発生量							
区 分	計	再生利用 の実施量	熱回収 の実施量	減量した量	用以外	廃棄物 としての 処分量	発生抑制 の実施量	再生利用 等実施率	
	千 t (100)	千 t (69)	千 t (2)	千 t (11)	千 t (2)	千 t (14)	千t	%	
E品産業計	19,270	13,355	445	2,197		2,791	2,483	85	
食品製造業	(100)	(78)	(3)	(13)	(3)	(3)	_,		
	15,936	12,495	441	2,122	414	464	2,138		
畜産食料品製造業	1,525	1,407	1	28	24	64	240	95	
水産食料品製造業	615	496	0	23	72	23	89	86 91 85 99	
野菜缶詰·果実缶詰·農産保存食料品製造業	283	222	1	28	4	29	77 41	91	
調味料製造業	316	246	13	5	20	32	41	85	
調味料製造業 糖類製造業 精穀・製粉業 パン・菓子製造業	2,164	637	264	1,253	9	0	139	99	
精彩・製粉業	1,857	1,787	0	0	64	6	77	96 92 98	
ハン・果ナ製直兼 動植物油脂製造業	467 3,344	405 3,270	4	14	5	38		92	
			<u>_</u> 12	5	56	11 201	489 310	98	
その他の食料品製造業	2,470 858	1,885 642	0	321 115	52 97	14	380	91 92	
清涼飲料製造業 酒類製造業	1,845	1,487	51	247	87 15	14 45	 	92	
	1,043	1,407	93	81	6	1	24	97 95	
-	(100)	(46)	(1)	(4)	(8)	(42)	27	30	
食品卸売業	210	96	1	9	16	88	35	58	
農畜産物・水産物卸売業	160	77	1	9	15	57	20	59	
食料・飲料卸売業	50	19	0	0	0	31	15	52	
食品小売業	(100)	(37)	(0)	(0)	(1)	(62)			
	1,239	453	2	5		765	183	45	
各種食料品小売業	832	311	1	3	6	512	129	46	
野菜・果実小売業	20	4	-	0	4	16	0	21 45	
食肉小売業	12	5	-	0	2	5	1	45	
鮮魚小売業	46	23	-	-	1	22	0	50	
酒小売業	24	- 3	-	- 0	<u>1</u> 0	0 21	-	-	
菓子・パン小売業 その他の飲食料品小売業	•	ے 108	- - 1	2	4	190	ر 49	23 45	
	(100)	(16)	(0)	(3)	(2)	(78)	49	40	
外食産業	1,884	311	1	61	38	1,474	127	25	
沿海旅客海運業	3	-	-	-	-	3	-	-	
内陸水運業	0	-	-	-	-	0	-	-	
宿泊業	249	30	0	11	12	195	13	21	
飲食店	1,406	242	1	40	22 3	1,100	80	24	
持ち帰り・配達飲食サービス業	211	36	0	10	3	162	33	24 33	
結婚式場業	16	2	-	0		14	1	18 至 G 冬笠 1 項	

平成25年度実績は、農林水産省大臣官房統計部「食品循環資源の再生利用等実態調査結果(平成25年度)」と食品リサイクル法第9条第1項 注:1 に基づく定期報告結果を用いて推計したものである。

「0」:単位に満たないもの(例:400 t→0千 t)

「-」: 事実のないもの

² 単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。 3 表中に用いた記号は次のとおりである。

2 食品循環資源の再生利用の内訳

平成25年度の食品産業全体の再生利用の実施量は、13,836千 t となった。

これを業種別にみると、食品製造業が12,908千 t と最も多く、次いで食品小売業が467千 t 、外食産 業が348千 t 、食品卸売業が112千 t の順となっている。

食品産業全体の食品リサイクル法で規定している用途別の実施量の内訳は、飼料が9,751千 t (73%) と最も多く、次いで肥料が2,487千 t (19%)、メタンが596千 t (4%)、油脂及び油脂製品が467千 t (3%)、炭化して製造される燃料及び還元剤が47千t、エタノールが7千tの順となっている。

年度 平成25年度実績

※ 各項目の上段()内の数値は、食品リサイクル法で規定している用途別の実施量に 占める割合である。

区分 内生和内 (その他 を含む) 小計 (13,836 (100) 肥料 (173) 飼料 (73) メタン 油脂製品 (73) 炭化して 油脂製品 (73) エタ る燃料及 (100) エタ (100) モヤ (13,335 (100) 千 t (13,335 (100) 千 t (100) 1			食品リサイクル法で規定している用途別の実施量							
13,836 13,335 2,487 9,751 596 467 0 47 7 481 481 482	区 分	の実施量 (その他 を含む)		肥料	飼料	メタン	油脂及び 油脂製品	炭化して 製造され る燃料及 び還元剤	ノール	(再生利) 用以外
食品製造業 12,908 12,495 2,174 9,426 568 285 37 6 414 高産食料品製造業 1,431 1,407 309 934 6 151 7 0 22		千t								千t
度品製造業 12,908 12,495 2,174 9,426 568 285 37 6 414	食品産業計	13,836	` ,					` '	` '	481
Temporary Te	企品制 告業		` '	` '	` '	` '	` '	` '	` '	
水産食料品製造業 568 496 108 370 0 15 2 0 72		,	,	,	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	1			_	414
野東の語・果年語・農産保存食料品製造業 225 222 115 104 2 - - - - - - - - -					. 1		.			24
調味料製造業	水産食料品製造業					0	15	2	0	72
精報・製物業		225	222	115	104	2	-	-	-	4
精教・製粉業		265	246	89	. 1	3	3	1	1	20
パン・菓子製造業		1 051	037	88	1 727	-	0	7	4	9
動植物油脂製造業	イス・光初末 パン・・ 英フ制 生衆			5/	1,/2/	<u> </u>		0	-	64 5
その他の食料品製造業 1,937 1,885 527 1,290 34 28 5 1 52 清涼飲料製造業 729 642 498 86 40 0 18 - 87 37 37 19 0 - 0 - 0 0 - 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		3 3 3 A	3 270	165	3 050				_	56
清涼飲料製造業						.1	.		1	50
酒類製造業		729		498				18	·······	87
第・コーヒー製造業(清涼飲料を除く) 18 12 11 0 - 2 - 0 - 6 食品卸売業 112 96 46 25 3 21 0 - 16 農畜産物・水産物卸売業 93 77 37 19 0 21 0 - 15 食料・飲料卸売業 19 19 10 5 3 0 0 - 16 食品小売業 467 453 154 194 17 82 6 0 12 各種食料品小売業 316 311 112 143 15 35 5 0 6 資外小売業 7 5 0 2 0 3 0	一 <u>////////////////////////////////////</u>			167		472	<u>-</u>		0	15
食品卸売業 112 96 46 25 3 21 0 - 16 農畜産物・水産物卸売業 93 77 37 19 0 21 0 - 15 食料・飲料卸売業 19 19 10 5 3 0 0 - 0 食品小売業 467 453 154 194 17 82 6 0 12 各種食料品小売業 316 311 112 143 15 35 5 0 6 野菜・果実小売業 4 4 - 4 -			 				-			6
農畜産物・水産物卸売業		10					(22)			
食料・飲料卸売業 19 19 10 5 3 0 0 0 - (では 100) (34) (43) (43) (43) (43) (43) (43) (43	艮品即冗耒	112	96		25	3		0	-	16
食料・飲料卸売業	農畜産物・水産物卸売業	93	77	37	19	0	21	0	-	15
食品小売業 467 453 154 194 17 82 6 0 14 各種食料品小売業 316 311 112 143 15 35 5 0 6 野菜・果実小売業 4 4 - 4 -	食料・飲料卸売業	19			5	3				0
各種食料品小売業 316 311 112 143 15 35 5 0 6 野菜・果実小売業 4 4 - 4 -	食品小売業	467	` '	` '	` '	` '	` '	` '	` '	1.4
野菜・果実小売業 4 4 - 4 -	久插合料只小声業									
食肉小売業 7 5 0 2 0 3 0 - 2 鮮魚小売業 24 23 12 10 - 0 - - 1 酒小売業 1 -<			J11 1	114	140	-	-	-		0
鮮魚小売業 24 23 12 10 - 0 - - 1 - <td< td=""><td></td><td></td><td></td><td>0</td><td>2</td><td>0</td><td>3</td><td>0</td><td>-</td><td>2</td></td<>				0	2	0	3	0	-	2
酒小売業 1 - <td< td=""><td></td><td></td><td>4</td><td>12</td><td>10</td><td></td><td></td><td></td><td>-</td><td>1</td></td<>			4	12	10				-	1
菓子・パン小売業 3 3 0 2 0 0 - - 0 その他の飲食料品小売業 112 108 29 33 2 43 1 - 4 外食産業 348 311 113 107 7 79 4 0 38 沿海旅客海運業 - - - - - - - - - - - 内陸水運業 -	海 小 主 			-	-	-	l	-	-	1
外食産業 348 311 113 107 7 79 4 0 38 沿海旅客海運業 - <t< td=""><td>菓子・パン小売業</td><td>3</td><td>3</td><td>0</td><td>2</td><td>0</td><td>0</td><td>-</td><td>-</td><td>0</td></t<>	菓子・パン小売業	3	3	0	2	0	0	-	-	0
外食産業 348 311 113 107 7 79 4 0 38 沿海旅客海運業 - <t< td=""><td>その他の飲食料品小売業</td><td>112</td><td>108</td><td>29</td><td></td><td>2</td><td>43</td><td>1</td><td>-</td><td>4</td></t<>	その他の飲食料品小売業	112	108	29		2	43	1	-	4
沿海旅客海運業 -		348	(/	(36)	(34)	(2)	` '	` '	` '	38
内陸水運業	沿海旅客海運業	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宿泊業 43 30 18 8 1 3 1 0 12 飲食店 264 242 82 84 6 68 1 0 22 持ち帰り・配達飲食サービス業 39 36 12 14 0 8 2 - 3 結婚式場業 2 2 1 1 0 0 - 0 - 0	内陸水運業	-	-	-	-	-	-	-	-	-
飲食店 264 242 82 84 6 68 1 0 22 持ち帰り・配達飲食サービス業 39 36 12 14 0 8 2 - 3 結婚式場業 2 2 1 1 0 0 - 0	宿泊業	43	30	18	8	1	3	1	0	12
持ち帰り・配達飲食サービス業 39 36 12 14 0 8 2 - 3 結婚式場業 2 2 2 1 1 0 0 - 0		264	242	82	84	6	68	1	0	22
	持ち帰り・配達飲食サービス業	39	36	12	14	0	8	2	-	3
	<mark>善</mark> 結婚式場業	2	2		1	•	0	-		-

平成25年度実績は、農林水産省大臣官房統計部「食品循環資源の再生利用等実態調査結果(平成25年度)」と食品リサイクル法第9条第1項 注:1

「0」:単位に満たないもの(例:400 t→0千 t)

「-」: 事実のないもの

に基づく定期報告結果を用いて推計したものである。

² 単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。 3 表中に用いた記号は次のとおりである。